

# かぜ やはすの風

がっこう 学校だより No. 8

れいわ ねん がつ にち 令和6年6月14日

きたきゅうしゅうしりつ も じ そうごうとくべつしえんがっこう 北九州市立門司総合特別支援学校

こうちよう 校長 おがた ねおひこ 緒方 直彦

「やはすの風」アーカイブ集から、引っ張り出した令和4年9月2日発行の「セミナーハウス特集号」を、今号のおまけとして同時配信させていただきます。「やはすの風」をカラーでお届けできるようになったことから、今号ではセミナーハウス内外の写真を掲載します。左側の写真は、清掃の技能検定を行うことのできるメインホールとなります。右側の写真は、セミナーハウスからの遠景です。関門海峡左手対岸付近に巖流島、対岸中央部に海峡ゆめタワー、そして右手に関門橋をうっすらと望むことができるロケーションとなっています。



いっしょうけんめい 一生懸命、まじめに、熱心に活動に取り組む生徒の姿に、本当に心が洗われる思いがしました。A部門高等部生徒は、6/3(月)から6/14(金)までの2週間、前期産業現場等における実習に励みました。1年生は校内実習、2,3年生は校外実習となります。1年生は高等部で初めての実習(ホップ)、2年生は初めての校外実習(ステップ)、そして3年生は来年の3月卒業後の進路を見据えた3回目の校外実習(ジャンプ)となります。前期実習の詳しい内容は、「進路だより」の紙面に譲りたいと思います。約30の企業・事業所・福祉施設等が、今回の実習を受け入れてくださいました。本当にありがとうございました。

編集部は実習期間の2週間、可能な限り進路指導主事・担当者や、学級担任の巡回指導に同行しました。生徒にとって、初めての場所がほとんどで、そうすると周囲の人達も初めての方ばかり・・・私達大人でも、そのような環境下に置かれたら、逃げ出したくなるような気持ちになるかもしれません。校内実習もいつもの職業科の時間とは様変わり、校外実習を想定したシステムやルーチンで、1日が流れていきます。1年後の校外実習への段差が、少しでも低いものになればと願います。高等部の生徒のみなさん、2週間本当によくがんばりました。たくさんの花丸を贈ります。卒業後のよりよい進路先につながることを、教職員一同心から願っています。